

鳥羽市予算決算常任委員会会議録

令和 8 年 6 月 4 日

○出席委員

委員長	木下順一
委員	倉田正義
委員	山本欽久
委員	南川則之
委員	戸上健
委員	尾崎幹

副委員長	世古雅人
委員	五十嵐ちひろ
委員	瀬崎伸一
委員	濱口正久
委員	坂倉広子
委員	世古安秀

議長	河村孝
----	-----

○欠席委員（なし）

○出席説明者

歳入（全部）

- ・大野副市長
- ・北村財政課長、中村補佐、中村係長

歳出（全部）

- ・大野副市長
- ・岩井建設課長、鳥羽副参事、吉川補佐、中西係長

○職務のために出席した事務局職員

事務局 局長 佐々木 真 紀

次 長 兼 議事総務係長	大 田 篤 史
-----------------	---------

(午前10時26分 再開)

○木下順一委員長 皆さんおはようございます。

ただいまより予算決算常任委員会を再開します。

本日審査をします議案は、議案第1号、令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号）の1件であります。

審査に入る前に委員の皆さまに申し上げます。

歳入については、事業取り組みによる支出が伴いますので、歳出の部で質疑を行ってください。

質疑については、関連質問で進めていただき、質問内容が前後することがないように、進行についてご協力ください。

それでは、審査に入ります。議案第1号、令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号）の概要と歳入について、執行部の説明を求めます。

副市長。

○大野副市長 副市長の大野でございます。

予算決算常任委員会の審査に当たりまして、私から補正予算の概要についてご説明申し上げます。

議案第1号、令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号）につきましては、歳入歳出ともそれぞれ1,971万円を追加し、補正後の総額を154億9,771万円とするものです。

歳入予算につきましては、繰入金は1,971万円の増額を計上しております。

歳出予算につきましては、土木費で1,971万円の増額を計上しております。

以上、詳細につきましては各所管課長から説明しますので、ご審査賜りますようよろしくお願いいたします。

○木下順一委員長 財政課長。

○北村財政課長 財政課の北村です。よろしくお願いいたします。

それでは、令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号）、歳入について説明させていただきます。

補正予算書6ページから7ページをお願いいたします。

18款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金につきましては、1,971万円を増額補正しています。

以上で歳入の説明を終わります。ご審査賜りますようよろしくお願いいたします。

○木下順一委員長 説明は終わりました。

これより質疑を行います。

歳入についてご質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○木下順一委員長 ないようですので、財政課は退室をしてください。

(財政課退室)

○木下順一委員長 それでは、歳出の審査に入ります。

7款土木費について、担当課の説明を求めます。

建設課長。

○岩井建設課長 建設課の岩井です。よろしくお願いします。

令和8年度一般会計補正予算（第2号）の概要をご覧ください。

概要の4ページを、一番最後のページお願いします。

中事業名、港湾施設整備事業で、予算額1,971万円の増額をお願いするものです。

令和5年12月に中之郷物揚場に安全対策として設置しました敷き鉄板を買い取るための費用を計上いたします。なお、購入に伴い不要となるリース料については、減額したいと思います。

主な経費をお願いします。

使用料、中之郷物揚場敷き鉄板リース料262万2,000円の減額です。備品購入費として、中之郷物揚場敷き鉄板購入費として2,233万2,000円となります。

配布しました資料のほうをご覧ください。

まず、予算決算常任委員会資料1の写真のほうをご覧ください。

4枚写真があるかと思うんですが、左側の2枚が設置当初、令和5年12月に敷き鉄板を引いた当時のものです。右側をお願いします。現在の敷き鉄板の様子になっています。劣化した様子がわかるかと思います。

続きまして、資料2をご覧ください。

これまでの中之郷物揚場の経緯等及びコストの件について資料を作成しましたので、配付しました資料2をご覧ください。

経緯としまして、昭和46年に下部の鋼管杭として87本、上部にコンクリートの床板ということで、中之郷物揚場が供用を開始されてます。平成6年から平成15年、鋼管杭の補強・防食工事を10年程度かけて1回実施しています。平成11年に床板の補強工事を実施しました。令和4年度にコンクリートの床板について調査したところ、かぶり等の剥落などの部材の変形の確認がありましたので、次の令和5年12月からリースによる敷き鉄板の設置を行っているところになります。

下のほうをご覧ください。

令和5年12月に敷き鉄板を引いてからこれまでどういう対応をしてきたかという形で、中之郷物揚場の代替施設について、港湾管理者である三重県に代替えの施設は探していただいたところなんですが、ちょっと鳥羽港湾内には見当たらないという回答をいただけてます。

そこで、令和8年5月、先日なんですが、鳥羽のこの物揚げを利用している海運業者さん、鳥羽磯部漁協さん、自治会連合会さん、あと定期船課等市役所の課の職員とオブザーバーに志摩建設事務所さんからなる中之郷物揚場対策協議会というものを設置しました。代替え案が見つかるまで、中之郷物揚場を利用しながらこの改修工事を進めていく協議の場をこの対策協議会で行っていきたいと思っております。

令和9年度以降の計画なんですが、令和4年度の調査結果をもとに基本計画の予算等を来年度予算計上できればと、今のところ計画しているところになります。

次のページ、裏面をご覧ください。

今回、即日表決をしていただくよう提案させていただいたところなんですが、令和5年12月から緊急安全対策として敷き鉄板をリースしてきましたが、今年度に入りリース業者と協議を行う中でリースが長期化する見込みであるのであれば、早々に買い上げたほうが財政的というかお金的に有利であると今回判断しましたの

で、効果的な予算執行を行うためには購入は早いほうがいいと判断し、本日、6月3日と書いてあります、すみません6月4日、本日に即日表決をいただき、予算議案をお認めいただきましたら仮契約として進んで、22日に財産取得議案として追加議案をさせていただきたいと考えているところになります。

今回、今日表決いただいて仮契約を22日ということで、コストについて少し計算を書いてみました。

①です。このまま工事終了、まだ工事何年かかるかわかりませんが、リースで行った場合は、今後10年リースしたとすると年間349万4,000円の使用料、リース料がかかります。10年と計算すると、3,494万円。リース終了後には不足分弁償金という形で欠損した場合、立て替えなければならないというのがありますので、それが2,233万2,000円、合計すると約5,700万円ほど今からかかるであろうという形になります。

次、2番目です。本日即日表決いただいて6月末までリースで、今回仮契約で購入という形になると、4月5月6月分の3か月分のリース料と、リース終了後の不足分弁償金を合わせて2,320万2,000円で済みます。

今回予算計上して、仮契約を9月議会に持っていくと、③番です。9月末で購入した場合となると、リース料の期間が3か月ほど伸びますので、合計すると2,408万4,000円かかってしまうという形になります。

下の①と②は、工事終了までと、今回即日表決いただいた比較で、3,400万円ぐらいはかかってしまうであろうという形になりますが、下の②と③のコスト比較は、今回予算をあげて9月議会で仮契約すると、差を88万1,000円ぐらい、今回の22日の表決にさせていただくと、安く収まるという形で今回提案させていただいたところになります。

以上となります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○木下順一委員長 担当課の説明は終わりました。

7款土木費、港湾施設整備事業についてご質疑はございませんか。

戸上委員。

○戸上 健委員 これ買い取った場合ですね、この工事が終わって保管してまた別の工事に使うという可能性はあるのでしょうか。

○木下順一委員長 建設課副参事。

○鳥羽副参事 建設課の鳥羽です。よろしくお願いします。

工事が終わってこの鉄板が中之郷物揚場から使用されなくなった場合は他の工事で転用することは可能だと考えてます。

○木下順一委員長 戸上委員。

○戸上 健委員 議会に提出されたこの資料では当該工事のみに計算されておりますけれども、さっき副参事が答弁なさったことを今後鑑みていけばさらに経費っていうのは削減できると。もうリースで借りる必要がないわけですから。

いろんな工事の現場でこの鉄板を利用することができるというふうに考えていいのでしょうか。

○木下順一委員長 鳥羽副参事。

○鳥羽副参事 はい。そのように考えていただいて結構です。

○戸上 健委員 以上です。

○木下順一委員長 他にございませんか。

瀬崎委員。

○瀬崎伸一委員 当初の設置から約2年半ぐらいで現状写真を見せていただくと表面がやっぱり荒れてきている、鉄板なので塩害によるところの腐食が進むのかなと思うんですけど、まだ10年ぐらい使わなあかんのかなと思うんですけど、まだそれをこのままずっとこれは使い続けられるからここでなのか、何が言いたいかっていうともう腐食が進んでいるものをわざわざ買わんと、まず一旦さらピン買ったほうがよかったんと違うかっていうような比較もされたんかなという思いがあって、もしあれば教えてください。

○木下順一委員長 鳥羽副参事。

○鳥羽副参事 まず、この腐食が進んでこのままということですけども、私ちょっと現地で厚み、鉄板の再計測を行ってきましたところ、一番減っている鉄板で約2ミリぐらい、ちょっと減っているような状態でしたので、まだまだ現時点では使えるというふうな判断をしています。

あと、これをリース業者とも話はしますけれども、現時点でもうすでにすべて不足分弁償金がいるというような形になってますので、たとえ新品を買って設置してもこの今敷いてある鉄板の不足分弁償金はリース業者には払わなければならないということです。既存の今敷いてある鉄板を購入するという形の判断をいたしました。

○木下順一委員長 瀬崎委員。

○瀬崎伸一委員 わかりました。

おそらくまだまだしばらく使えるんだろうなと思うんですけど、その下、ちょうど海に浸かっているコンクリートのところが非常にもろくなってきたのかなっていうところの補強のためのものであるなら、あまり腐食が進んでしまうと敷いてる意味がない。ただ負荷かけてるだけみたいになっていくのがちょっと怖いなという思いがあって、今後もしそれがあつた程度進んできた場合は追加で購入するなり、追加の対策をするなりということはもちろん考えていらっしゃいますよね。

どうですかね。

○木下順一委員長 鳥羽副参事。

○鳥羽副参事 現時点ではまだそんなに減ってないということですけども、鋼材ですね、大体厚みの50%ぐらい減るともう危険性が高いという判断になりますので、そのあたりまで減ってきたら、まだ工事が着手できないとかそういう状態でありましたら新たな鉄板をその部分だけ購入するというようなことも考えております。

○木下順一委員長 瀬崎委員。

○瀬崎伸一委員 ありがとうございます。

何とかうまく進むように、交渉等進めながらよろしくお願いします。

以上です。

○木下順一委員長 他にございませんか。

南川委員。

○南川則之委員 瀬崎委員がいい質問していただいたかなと思います。

もう一度確認なんですけども、これ何年リースをしてでも最終はこの不足分弁償金2,233万2,000円なにがしやという、前後するかわかりませんが、必ずいるということでリースの期間をなるべく抑えて購入に当たるという理解でいいのかどうか、もう一度確認をお願いします。

○木下順一委員長 建設課長。

○岩井建設課長 議員のおっしゃる通りです。

少しでもリース期間を短くして早く購入したいということになります。

以上です。

○木下順一委員長 南川委員。

○南川則之委員 わかりました。

敷き鉄板をするというところで、なぜこの鉄板がいるかというところは当初から議会にも報告いただいております。

緊急安全対策ということであそこを使うということで、どうしても緊急安全対策をするということで、副市長にちょっとお聞きしたいんですけども、担当課から書いていただいているように5月に協議を開始したということで、もともと当時この構造の状態が鋼管杭も含めてかなり腐食しておるということで、いつ壊れるかわからんような状態ということで、喫緊にやらないかんという中で今に至っておるということで、早急にやらないとこういった敷き鉄板のこともしても安全対策というところがどうかと思うところがありますので、ぜひこの令和9年度に向けていろんな調査もされるということなんですけども、安全上のスピード感が必要じゃないかなと私は思うんですけども、副市長の考え方を少し教えてください。

○木下順一委員長 副市長。

○大野副市長 私といたしましても、やはり現場としては腐食が非常に進んでおるところでございます。やはりおっしゃる通りスピード感を持って進めたいと考えております。

進めるにあたっては、やはり予算の話であるとかもございまして、県とか国とかの支援も仰ぎながら進めていきたいなと思ってます。

今現状、中之郷物揚場につきましては、離島からの資材であったり、ごみであったり、今荷揚げをしているという現状がございます。ただ、今計画上なかなかすぐ工事が着手できるということではございませんので、ちょっと併せて、例えばそのこの負荷、今そこに荷揚げしている物揚場に対する負荷を低減できるように何か少しでもちょっと他のところで荷揚げができるとか、そういうことも並行して考えながら進めていきたいなと考えております。

以上でございます。

○木下順一委員長 南川委員。

○南川則之委員 副市長ありがとうございます。

担当課一生懸命やっていただいて、こういった全体協議をかけないかんということでなかなか難しい案件もあるかなと思うし、県にもいろいろ話をしておった中でここでないといかんというような結論に至って今後改修していくということなんですけども、ぜひ全体的な、みんなでやるということをお願いしたいと思います。

以上です。

○木下順一委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 南川さんが言うたように早急にするべきっていうのは、これ4年前に僕は水中ドローン飛ばしたらもうこんなさな。漁協の依頼でやったんやけど、漁協がやっぱり傾いとるわけですよ、もう。やっぱり3度から5度傾いとるわけなんです、海側にそこはもうご存じですよ。

17年って一応書いてあるけど、耐震バースにするのか何するかによっても全然納期もなんやかんやが全部変わってきますよ。そういう悠長なこと言うたっていいんかなっていうのが疑問に思うところなんやけど、早急にさせていただかなう鳥羽の独自の港というともうあそこしかないですから。

そうするためにもその鉄板自体が何らかの役には立っとなやけど、反対に誰か言うたようにあの重みはやっぱりかなりの重みやに。それを計算しながらやってもらわな。

それで本当に耐震バースにするのかしやへんのか、するならば中之郷をフェリー乗り場の横のように、あれ17年かかるんですよ、県の事業は。うちもそれぐらいの幅があって、あれ本当にここに書いてあるようにただか10年で本当にできるのかなと思っとなやけど、そこら辺もちゃんと明確に出した中で、今回は板やでそこはいいとしても、今後のやっぱり計画をもうちょっと明確に出しいただくことが大事かなと思ってます。

副市長どうですか。

○木下順一委員長 副市長。

○大野副市長 言われる通り現場としては喫緊というか、非常にスピード感を持っていかなくちゃいけないと思うので、今から現状の利用船舶であったり、今協議会という形で利用形態も確認させてもらってますけども、そこはちょっとなるべく早く現場も進められるように調整もしながら建設課、市役所一体となってちょっと進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○木下順一委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 なんせ、僕がどうのこうのとちゃうんですよ。漁業者もしくは荷揚げ場所となっとなわけですからね。それを4年前から定義しとったわけですよ。やっと4年後にしましようかっていうスタートを切るわけですけど、そんな悠長なこと言うたって本当にいいんかなと。

今ね、地震震度4、震度5きたらごそっと落ちる可能性もあるわけですから、そういう危機感をもって早急にさせていただくことが一番大事だと思ってますので。早急にもう1分1秒早くやったってください。

以上です。

○木下順一委員長 他にございませんか。

よろしいですね。

(「なし」の声あり)

○木下順一委員長 ご質疑もないようですので、以上で審査を終わります。

これで付託された案件は全て説明を受けました。

続いて採決に移る前に委員の皆さんで討議したい案件はございますか。

(「なし」の声あり)

○木下順一委員長 これより採決を行います。

お諮りします。

議案第1号、令和8年度鳥羽市一般会計補正予算（第2号）について、原案どおり可決することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○木下順一委員長 ありがとうございます。

起立全員であります。

よって、議案第1号は原案どおり可決することに決定しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査は終了しました。

これで委員会を終わりたいと思いますが、本委員会における委員長報告につきましては、ご一任をお願いします。

これをもって予算決算常任委員会を散会します。

（午前10時50分 散会）

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和8年6月4日

予算決算常任委員長 木 下 順 一